



ならず、市政の現状もメタボ体質になっていないか。第四次総合計画のこの10年、あれもこれもやって来たとして、市政の自己評価は高いようだが、私から見ると、10年前に想い描いた期待と、目の前にある現実とのギャップが大き過ぎる。

◆**問** 人口減少時代の消費増税10%どころか、20%超を目指さざるを得ないのではないか。国民・市民にとっては、収入も仕事も増えない中、各種料金の値上げもあり負担だけが増す傾向だ。その原因が行政メタボにあることを行政自身が認めなければ、体質改善しようにも何も始まらない。スリムな行政に変え、市民の負担を少しでも軽くするのが政治・行政の使命ではないか。

◆**答** 本年度から、新たな行政改革基本方針を定め、運用を開始した。事業部ごとに目標を設定し、創意工夫のある取り組みで、よりスマートな自治体経営を目指している。

◆**問** 今後の研究課題としたい。

◆**答** もう一つ重要な問題は、地域自治体が充分養われて来たかどうか。一度仕切り直して新たなしくみをつくったかどうか。市内10地区にある旧来の組織は発展的に解消し、(仮称)地域経営会議と地域交付金制度を創設する。算定基準など詳細は今後研究する

◆**問** 東北信には北陸に繋がる新幹線が既にあり、南信にはリニア新幹線計画が進んでいる。一方、中信は「陸の孤島化だ」と言われている。我々は発想を変えて、空の交通の発展を考えた。それが、信州まつもと空港の国際空港化だ。まつもと空港の国際空港化は、標高の高さと景色の良さは日本一だと評価される空港だが、もつと空港の魅力を増し、存在価値を高めることが、空港への陸の交通網整備促進のテコになる。空港の所在市としての塩尻市が音頭を取って夢の国際空港プロジェクトを推進しようではないか。

◆**問** 信州まつもと空港国際化の夢

◆**答** 地域の実情が必要となればデマンド型導入も検討するが、当面現行制度で対応する。

◆**問** 消費増税は、広く国民に影響を及ぼすが、増税分は全て社会保障の財源となり、低所得者にも還元される。増税が決定した現状においては、増税分が目的に資する事を期待する。簡易な給付措置は、市では事務量が増える。軽減税率は、財務省では税収減の試算をしている。逆進性を考慮すると、生活弱者に及ぶ影響を抑えられる方策を望む。

◆**問** 消費増税の認識

◆**答** 日本は社会保障、財政状況をみて増税の必要性や、低所得者対策についての認識はどうか。

◆**問** 消費増税の認識

◆**答** 消費増税は、広く国民に影響を及ぼすが、増税分は全て社会保障の財源となり、低所得者にも還元される。増税が決定した現状においては、増税分が目的に資する事を期待する。簡易な給付措置は、市では事務量が増える。軽減税率は、財務省では税収減の試算をしている。逆進性を考慮すると、生活弱者に及ぶ影響を抑えられる方策を望む。

◆**問** 消費増税の認識



信州まつもと空港滑走路

期を迎えた。その上に新たな施設の建設需要は絶えない。お金はいくらあっても足りない状況だ。行政はこれまでお金をどう使うかばかり考えてやって来て、経費を増やし続けメタボ化した。これからは、お金をどう稼ぐかという方向へ、意識の大転換をする必要があるのではないかと。具本案として「地域経済活性化基本条例」の制定を提案する。

◆**問** 今後の研究課題としたい。

◆**答** もう一つ重要な問題は、地域自治体が充分養われて来たかどうか。一度仕切り直して新たなしくみをつくったかどうか。市内10地区にある旧来の組織は発展的に解消し、(仮称)地域経営会議と地域交付金制度を創設する。算定基準など詳細は今後研究する

◆**問** 東北信には北陸に繋がる新幹線が既にあり、南信にはリニア新幹線計画が進んでいる。一方、中信は「陸の孤島化だ」と言われている。我々は発想を変えて、空の交通の発展を考えた。それが、信州まつもと空港の国際空港化だ。まつもと空港の国際空港化は、標高の高さと景色の良さは日本一だと評価される空港だが、もつと空港の魅力を増し、存在価値を高めることが、空港への陸の交通網整備促進のテコになる。空港の所在市としての塩尻市が音頭を取って夢の国際空港プロジェクトを推進しようではないか。

◆**問** 信州まつもと空港国際化の夢

◆**答** 地域の実情が必要となればデマンド型導入も検討するが、当面現行制度で対応する。

◆**問** 消費増税は、広く国民に影響を及ぼすが、増税分は全て社会保障の財源となり、低所得者にも還元される。増税が決定した現状においては、増税分が目的に資する事を期待する。簡易な給付措置は、市では事務量が増える。軽減税率は、財務省では税収減の試算をしている。逆進性を考慮すると、生活弱者に及ぶ影響を抑えられる方策を望む。

◆**問** 消費増税の認識

◆**答** 日本は社会保障、財政状況をみて増税の必要性や、低所得者対策についての認識はどうか。

◆**問** 消費増税の認識

◆**答** 消費増税は、広く国民に影響を及ぼすが、増税分は全て社会保障の財源となり、低所得者にも還元される。増税が決定した現状においては、増税分が目的に資する事を期待する。簡易な給付措置は、市では事務量が増える。軽減税率は、財務省では税収減の試算をしている。逆進性を考慮すると、生活弱者に及ぶ影響を抑えられる方策を望む。

◆**問** 消費増税の認識

◆**答** 消費増税は、広く国民に影響を及ぼすが、増税分は全て社会保障の財源となり、低所得者にも還元される。増税が決定した現状においては、増税分が目的に資する事を期待する。簡易な給付措置は、市では事務量が増える。軽減税率は、財務省では税収減の試算をしている。逆進性を考慮すると、生活弱者に及ぶ影響を抑えられる方策を望む。

公明党
質問者 中村 努
山口恵子
持ち時間113分

消費税増税の低所得者対策と中小企業支援

◆**市長の消費税の認識**
問 日本は社会保障、財政状況をみて増税の必要性や、低所得者対策についての認識はどうか。

◆**答** 消費増税は、広く国民に影響を及ぼすが、増税分は全て社会保障の財源となり、低所得者にも還元される。増税が決定した現状においては、増税分が目的に資する事を期待する。簡易な給付措置は、市では事務量が増える。軽減税率は、財務省では税収減の試算をしている。逆進性を考慮すると、生活弱者に及ぶ影響を抑えられる方策を望む。

◆**問** 消費増税の認識

◆**答** 消費増税は、広く国民に影響を及ぼすが、増税分は全て社会保障の財源となり、低所得者にも還元される。増税が決定した現状においては、増税分が目的に資する事を期待する。簡易な給付措置は、市では事務量が増える。軽減税率は、財務省では税収減の試算をしている。逆進性を考慮すると、生活弱者に及ぶ影響を抑えられる方策を望む。

◆**問** 消費増税の認識